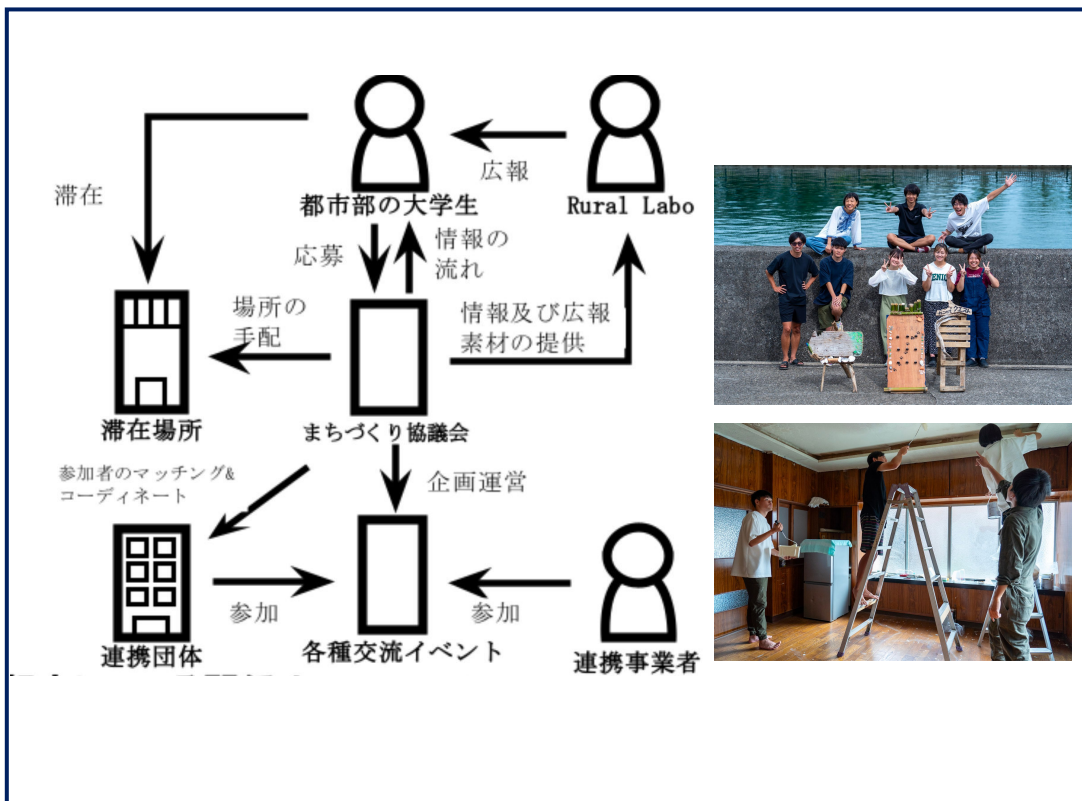
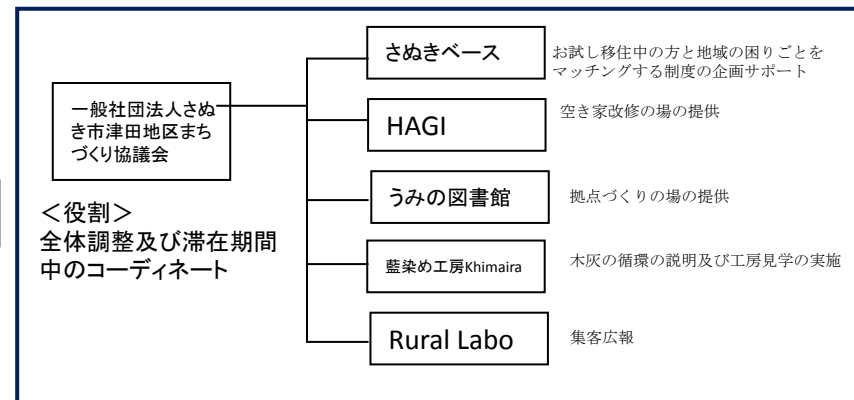


# さぬき地域留学

## <津田地域における活動実績 概要> ※事業実績の概要について記載※



## <実施体制図>



## <参画した関係人口の報告>

参加人数:6人  
 応募者数:12人  
 年齢は18歳~25歳で高校生、大学生、社会人など  
 地域:6人中5人が東日本からの参加,6人中2人が都市部からの参加  
 今回の事業終了後参加者に総合的な満足度をアンケートにて聞いたところ10段階評価で平均8.66と非常に高い満足度であったことがわかった。また年度内にまたさぬき市を訪れたいと感じましたかという質問においては6人中5人が訪れたいと回答し、残りの1名も距離的に遠いため金銭的に参加が難しいが気持的にはまた訪れたいという回答でした。

## <事業成果:設定した地域課題へのアプローチ>

【設定した地域課題①】海辺を中心とした空き家の増加:今回のシェアキッチン整備によって、stellaさんが月に数日オープンすることになりました。それに伴い各種メディアでも掲載がありました。

【設定した地域課題②】移住検討者の受け入れ体制の少なさ:これまで地域の中で拾い上げることでできていなかった地域課題の掘り起こしに繋がったことにより、現状10個の依頼が来ている。

【設定した地域課題③】森林の所有者の高齢化による担い手不足:参加者の方には間伐した木をカットし、薪割りができる状態にする作業を体験してもらったが、女性の場合電動工具を使わないとカットすること自体が難しいことがわかった。

【設定した地域課題④】観光客の受け入れ体制の無さ:今回整備したスペースを曜日ごとにテナントとして貸し出すことで朝の部分の強化をさらに強める形につながると考えている。来年度よりコーヒー店が日曜日に出店予定であり、最も朝食ニーズの多い日曜日の受け皿がさらに増える結果につながる予定である。

## <事業終了後の展望>

ニーズ自体はあることが今回分かったが、

- ・長期休暇期間など需要が多いタイミングで受け入れできる人数を増やすこと
- ・長期休暇以外のタイミングでも通年で関われる企画を作ること

の2点が今後の課題だと考えている。

今後増えるであろう空き家をうまく利活用しながら受け入れ場所の整備を進めて行きつつ当初より地域おこし協力隊インターン制度の実現を目指していければと考えている。